

人間社会学部／地域社会コース	職名	教授	氏名	堤 圭史郎
----------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

2008年、大阪市立大学大学院文学研究科後期博士課程単位取得退学。2009年、博士（文学）を取得。2010年4月より本学に着任。2011年、共著書『ホームレス・スタディーズ—排除と包摂のリアリティ』により、第7回日本都市社会学会賞（磯村記念賞）を共同受賞。2014年、「多重債務経験者等の生活問題に関する調査研究—福岡県立大学人間社会学部公共社会学科の社会調査実習」により、一般社団法人社会調査協会から第4回社会調査協会賞『社会と調査』賞を受賞。

主な研究分野：社会学の立場から貧困問題・都市問題・地域問題を研究している。とりわけホームレスの人々をめぐる様々な「問題」について研究してきた。近年は、生活困窮者支援モデルに関する研究、大都市都心のコミュニティ状況把握等も行っている。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- （近刊）堤圭史郎・相川陽一,2024,「小規模非合併農協による地域生活文化圏の形成と課題—主に下郷農業協同組合の歴史と実践に基づいて」西村雄郎・岩崎信彦編著『地方社会の危機に抗する<地域生活文化圏>の形成と展開』東信堂: 754-791.
- Tsutsumi,K.(2024). Process of Social Acceptance of Facilities for the Poor. Institute of Social Theory and Dynamics. *Social Theory and Dynamics*,5, 70-86.
- Tsutsumi,K.(2023). The Past and Present Homeless Issues in Japan. Aoki H and Ishioka T (Eds.). *The Bottom Worker in East Asia: Composition and Transformation Under Neoliberal Globalization (Studies in Critical Social Sciences, 262)*. Netherlands: Brill, 230-256.
- 堤圭史郎,2023,「ホームレス化をヘッジする—ある支援付き住宅の取り組み」『社会分析』50: 73-90.
- 堤圭史郎・坂無淳・阪井裕一郎,2021,「福岡県内自治体の男女共同参画推進状況—政策意思決定・行政組織・地域自治への女性参画に着目して」『福岡県立大学人間社会学部紀要』29-2: 61-74.

②その他最近の業績

〈研究報告書等〉

- 堤圭史郎編,2024,『田川市における学校再編と部活動の地域移行—教員の経験と評価（2023年度福岡県立大学人間社会学部公共社会学科社会調査実習調査報告書）』.
- 堤圭史郎,2023,「第3章 経済・就労の状況」福岡県『令和5年年度隣保館人権課題把握調査報告書』: 406-458.
- 特定非営利活動法人抱樸,2023,『支援付き住宅の複合モデル「プラザ抱樸」の拡充と整備事業事業評価報告書』.(第I章3節、第II章、第V章、第VI章2節を執筆)

- ・ 堤圭史郎編,2022,『コロナ禍における困難と工夫—飲食店・教育機関・福祉施設・祭関係者へのインタビュー調査（2021年度福岡県立大学人間社会学部公共社会学科社会調査実習調査報告書）』.
〈書評〉
- ・ 堤圭史郎,2024,「川口泰司著『「寝た子」はネットで起こされる!?—ネット人権侵害と部落差別』福岡県人権研究所『リベラシオン』193: 104-108.
- ・ 堤圭史郎,2022,「橋本和孝・吉原直樹・速水聖子編著『コミュニティ理論と社会思想』『社会分析』49.: 110-1.
〈学会報告〉
- ・ 堤圭史郎,「ホームレス問題における認識と制度化—都市住民に着目して」,第96回日本社会学会大会,立正大学,2023年10月9日.
- ・ 堤圭史郎,「ホームレス問題と『地域共生社会』—貧者の施設の受容過程」,西日本社会学会第81回大会,熊本大学,2023年5月21日.
〈一般誌論稿〉
- ・ 堤圭史郎,2024,「貧困のリアリティを社会に育む」『2023年度ヒューマンアカデミア特別展集 Vol.2 第56回特別展 SDGs—持続可能な開発目標と人権』福岡県人権啓発情報センター: 45-6.
- ・ 堤圭史郎,2024,「貧困」『2023年度ヒューマンアカデミア特別展集 Vol.2 第56回特別展 SDGs—持続可能な開発目標と人権』福岡県人権啓発情報センター: 55.

③過去の主要業績

- ・ 堤圭史郎,2019,「貧者の施設と地域社会—施設コンフリクトと『良好な関係』」『理論と動態』12: 78-94.
- ・ 奥田知志・稲月正・垣田裕介・堤圭史郎,2014,『生活困窮者への伴走型支援—経済的困窮と社会的孤立に対応するトータルサポート』明石書店.
- ・ 青木秀男編,2010,『ホームレス・スタディーズ—排除と包摂のリアリティ』,ミネルヴァ書房.(序章「ホームレス・スタディーズへの招待」、5章「家族規範とホームレス—扶助か桎梏か」(妻木進吾と共著)を執筆)

3. 外部研究資金

- ・ 文部科学省,科学研究費補助金(基盤研究B),「大阪大都市圏住民の社会的紐帯と近隣効果の研究: 混合研究法による都市社会調査」,課題番号 20H01578,2020~24年度,13,130千円,研究分担者(研究代表者: 川野英二・大阪市立大学).

4. 受賞

5. 所属学会

関西社会学会、地域社会学会、西日本社会学会、日本社会学会、日本社会病理学会、日本社会分析学会（理事）、日本都市社会学会（事務局担当理事）、貧困研究会、ソシオロジ同人

6. 担当授業科目

教養演習・1単位・1年・前期、社会学A・2単位・1年・前期、社会学B・2単位・1年・後期、社会病理学・2単位・2年・前期、社会調査実習Ⅰ・2単位・2年・前期、社会調査実習Ⅱ・2単位・2年・後期、公共社会学研究Ⅰ・1単位・3年・前期、公共社会学研究Ⅱ・1単位・3年・後期、社会変動と社会問題・2単位・3年・後期、卒業論文・6単位・4年・通年、日本事情B・オムニバス・留学生・前期、地域問題研究・2単位・大学院・前期、地域問題演習・2単位・大学院・後期、特別研究Ⅰ・4単位・大学院・通年、特別研究Ⅱ・4単位・大学院・通年、フィールドワーク・2単位・大学院・通年

7. 社会貢献活動

- ・ 一般社団法人日本伴走型支援協会・伴走型支援研究会・委員
- ・ 川崎町地域公共交通会議・副会長
- ・ 添田町子ども・子育て会議・会長
- ・ 田川市社会教育委員・副会長
- ・ 田川市地域公共交通会議・副会長
- ・ 田川市バスロケーションシステム等導入プロポーザル審査委員会・会長
- ・ 特定非営利活動法人社会理論・動態研究所・研究員
- ・ 福岡県隣保館人権課題把握調査検討委員
- ・ 福岡県人権啓発情報センター企画委員会・委員 等

8. 学外講義・講演

- ・ 福岡県人権啓発情報センターヒューマン・アルカディア第56回特別展「SDGs - 持続可能な開発目標と人権-」に寄稿（タイトル「貧困のリアリティを豊かにする」「貧困（図書）の推薦」）。2023年12月9日～2024年年3月23日）

9. 附属研究所の活動等

- ・ 2023年度研究奨励交付金（COC研究）「炭鉱閉山による児童の問題から引揚孤児問題へー福岡県を中心に」（研究分担者）